資料３

用語解説

あ行

アイドリング・ストップ	自動車が走っていない時にエンジンをかけっぱなしにすること（アイドリング）を、やめること。不必要なアイドリングをやめることで、車の燃料が節約でき、排ガスを減らすことが出来る。
インクルーシブ教育体制	人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。障害のある者が一般教育制度から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされる。

か行

外国人登録	外国人登録制度は、住民基本台帳法の一部を改正する法律が平成24年7月9日施行されたことに伴い、廃止となった。
学校ファーム	心身共に発育段階にある児童・生徒が、農業体験活動を通じて、生命や自然、環境や食物などに対する理解を深めるとともに、情操や生きる力を身につけることをねらいとした取組。学校単位に農園を設置する。
環境マネジメントシステム	環境保全に向けて、企業・事業所等の組織が、環境への負荷を低減していくための「方針・計画」を立てて、それを「実行」し、その達成度を「測定・評価」し、結果をもとに「見直し・改善」することで、新たな目標に取り組んでいこうという仕組みのこと。
救急医療	救急医療は、病気やけがの症状の度合いに応じ、次の体制を整備している。①外来治療を必要とする軽症の救急患者に対する初期救急医療。②入院治療を必要とする重症の救急患者に対応する第二次救急医療。③重篤な救急患者に対応する第三次救急医療。
グローバル化	これまで存在した国家、地域などタテ割りの境界を超え、地球が1つの単位になっていく流れやその過程。
経常収支比率	財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費等の経常的経費に、市税や地方交付税などの経常的な一般財源収入がどのくらい使われているのか表す比率。率が低いほど、財政構造に弾力性がある。
刑法犯認知件数	警察において認知した刑法犯発生件数。
健康マイレージ	健康づくりの取組みをポイント化して特典を与える事業
公共施設アセットマネジメント	縦割りにより各部署で管理していた公共施設を一元的に把握して将来の費用負担を推計し、その上で、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用などを行い、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取り組み。
合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子供の平均数。
子どもの貧困	日本では、とりわけ相対的貧困の状態にある18歳未満の子どもの生活状況を指す。相対的貧困状況にある子どもは、医療や食事、学習、進学などの面で極めて不利な状況に置かれ、将来も貧困から抜け出せない傾向があることが明らかになりつつある。
コミュニティ	地域をよりよくすることを目的として、地域及び多種多様な活動への参加を通じて形成された人と人とのつながり。（「久喜市自治基本条例」において定義した内容。）
コミュニティ・スクール	学校運営協議会制度のこと。学校と保護者や地域住民が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、ともに協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。 コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組がおこなわれる。

さ行

再生可能エネルギー	有限な資源の石油・石炭などの化石燃料や原子力に対して、自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーの総称。具体的には、太陽光や太陽熱、水力（ダム式発電以外の小規模なものを言うことが多い）や風力、バイオマス（持続可能な範囲で利用する場合）、地熱、波力、温度差などを利用した自然エネルギーと廃棄物の焼却熱利用・発電などのリサイクルエネルギーを指し、いわゆる新エネルギーに含まれる。
財政調整基金	市の貯金のようなもので、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てておく資金。
サブカルチャー	主流文化に対し、一部の集団（一例として若者）だけを担い手とする独特の文化である。副次文化ないし下位文化とも訳される。

実質公債費比率	平成18年4月に地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行したことに伴い導入された財政指標であり、公債費による財政負担の程度を示すもの。従来の「起債制限比率」に反映されていなかった公営企業（特別会計を含む）の公債費に対する一般会計からの繰出金、一部事務組合の公債費への負担金、債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの等の公債費類似経費を算入している。
指定管理者制度	民間企業の経営ノウハウの活用、住民サービスの向上、経費削減などを目的として、民間企業等による公共施設の管理運営を可能とした制度。
シティプロモーション	地方自治体が都市の特色や魅力などを他の自治体や企業などに売りこむことによって、知名度や好感度を上げていくこと。
市民意見提出制度	パブリックコメントともいう。市の機関が施策の趣旨、目的、内容等の必要な事項を広く公表した上で、これに対する市民からの意見を求め、提出された意見を考慮し、意思決定を行うとともに、意見に対する考え方を公表する制度。
循環型	一度使用したものを再使用するなど環境への影響を最小限にすること。
新エネルギー	公的には日本における新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法（新エネルギー法）において「新エネルギー利用等」として定義され、同法に基づき政令で指定されるもののことを指す。現在、政令により指定されている新エネルギーは、バイオマス、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱発電、風力発電、太陽光発電などであり、すべて再生可能エネルギーである。
スクラップ・アンド・ビルド	予算や組織（ポスト）、事業の新設を行う場合、肥大化を防ぐために多くの場合は既存の予算や組織、事業を廃止する。これをスクラップ・アンド・ビルド方式と呼ぶ。
セキュリティ	コンピュータシステムを災害、誤用及び不正な利用から守ることであり、ハードウェア、ソフトウェア、データのいずれについてもその機密性、完全性、可用性を維持すること。
総合型地域スポーツクラブ	人々が、身近な地域でスポ-ツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、（1） 子どもから高齢者まで（多世代）、（2）様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、（3）初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。

た行

第三次救急医療	重篤な救急患者に対応する医療。
知識基盤社会	一般的に、知識が社会・経済の発展を駆動する基本的な要素となる社会を指す。
地方分権改革	自治体を自立した「地方政府」にするため、中央政府が握る権限や財源を移していく改革。
低炭素社会	地球温暖化の緩和を目的として、その原因である温室効果ガスのうち、大きな割合を占める二酸化炭素の排出が少ない社会を構築すること。
デマンド交通	予約型の運行形態の輸送サービス。決まった時間に決まったルートを運行する路線バスや、自由な時間に自由な場所で乗降ができるタクシーとは異なり、あらかじめ利用登録をした方が、電話などの予約により、自宅等から目的地、目的地から自宅等まで、乗り合いにより移動する運行形態のもの。
都市近郊型農業	都市近郊の農業一般を意味し、大消費地に近い農業地域、都市の生産緑地、市民農園などにおいて営まれる農業を包含する概念。都市型農業は住民に新鮮で安全な農産物を供給するとともに、水や緑、自然空間の提供により環境や景観を維持し、ゆとりや潤いを提供する貴重な役割を担っている。

な行

認定こども園	(1) 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能（保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能）(2) 地域における子育て支援を行う機能（子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能） を備える施設。
認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づき、将来の農業の担い手として市町村が認定する農業者。
ノーマライゼーション	障がい者や高齢者など社会的に不利益を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方。

は行

バリアフリー	もともとは建築用語で「バリア（障壁）」を「フリー（のぞく）、」つまり障壁となるものを取り除き、生活しやすくすることを意味する。建物内の段差など、物理的な障壁の除去と言う意味合いから、最近ではより広い意味で用いられてきている。

ヒートアイランド現象	都市部の気温がその周辺の郊外部に比べて異常な高温を示す現象。高温により自然環境が影響を受け、住民の生活や健康にも影響を及ぼすことから、近年問題視されている。対策を行わなければ、人口の集中がある場所では例外なく起こる現象で、都市の規模が大きいほどヒートアイランドの影響も大きい傾向にある。
フィルムコミッション	映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする公的機関で、映画撮影などを誘致することによって地域活性化、文化振興、観光振興を図るのが狙い。
フレンドシップ学級	知的障がい者の方の社会参加を促進するため、久喜市が行っている事業。
ヘイトスピーチ	人種・宗教・性的志向・性別などの要素に起因する「hate（憎悪・嫌悪）」を表す表現行為を指す語であり、いわゆる「差別用語」に加え、偏見や憎悪に満ちた文章・発言を指す。

ま行

メンタルヘルス	こころの健康。

や行

ユニバーサルデザイン	文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障がい・能力のいかんを問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）をいう。

ら行

ライフスタイル	生活の様式・営み方。
ライフステージ	出生から、学校卒業、就職、結婚、出産、子育て、定年退職などの人生の節目によって変わる生活（ライフサイクル）に着目した区分。
レセプト	病院などで発行する診療報酬明細書。
労働力人口	15歳以上の人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたもの。
ロケーションサービス事業	映画やドラマなどの撮影をスムーズに進めるため、ロケ地に関する様々な情報の提供や公共施設の使用などを支援する窓口として、映像を通して多彩な情報や魅力を発信し、広くPRするとともに、市民の方々に映像への関心をもっていただき、映像制作の皆様が撮影しやすい環境を提供することを目指している。

わ行

ワークショップ	市の機関が施策に対して複数の市民との一定の合意形成を図るために行う手法で、市民と市の機関及び市民同士の自由な議論を目的とする集まり。
ワンストップサービス	一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービス。

英数字

6次産業	農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態を表す造語。また、このような経営の多角化を6次産業化と呼ぶ。
65歳健康寿命	65歳に達した人たちが、介護を必要とせず、健康で自立した生活を送ることが出来る期間。
ICT	Information and Communication Technologyの略語。コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表す語。情報通信技術のこと。
NPO	Non-Profit Organizationの略語。営利を目的としないで、福祉の増進や文化・芸術振興、環境保全など様々な課題に、市民が自主的、自発的なボランティア活動や社会貢献活動を行う団体。